

金田一春彦ことばの資料館

北杜市金田一春彦記念図書館編

当館は国語学者金田一春彦博士の所有していた蔵書二万冊余りが寄贈された事をきっかけに、「ことば」「日本語」「方言」に関する資料を多岐にわたり収集しています。それらの資料は、館内併設の「金田一春彦ことばの資料館」で閲覧できます。日本の方言コーナーでは全国の方言が体験でき、また展示ブースには、国語辞書の編纂で使用した用例採集カードやベストセラーになった『日本語』の直筆原稿、全国の方言を採録した音声資料など「ことば」に関する様々な資料があります。これらの資料をデジタル化し、2017年よりその一部をWEB上のデジタルアーカイブシステム「ADEAC」で公開しています。春彦博士が遺された「ことば」の貴重な資料をぜひご覧ください。

(北杜市金田一春彦記念図書館 高野裕子)



YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

山梨県立図書館報
153
2023.4.1 発行

山梨県立図書館の貴重資料をご紹介します！

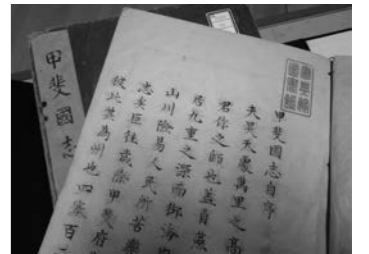
きてんかん 「微典館資料」

当館では、微典館資料と呼ばれる国書や漢籍などの和装本資料を所蔵しています。微典館は、江戸幕府が地方に開設した最初の直轄学校である甲府学問所の名称で、新学舎が建てられたのを機に、昌平坂学問所の大学頭林衡によって命名されました。明治維新後は幾度かの曲折を経て、現在の山梨大学の前身となります。徳川将軍家の蔵書である紅葉山文庫(現在の内閣文庫など)から下賜された資料や、昌平坂学問所の蔵書の一部を移すなどして整備されました。

当時、微典館資料の整理に携わった林進による「微典館文庫について」(『山梨教育月報』昭和27年8月号山梨県教育庁調査課発行)には、「明治初年微典館の廃止当時尋常師範甲府中学に移管され、第二中学が日川村に移転の時甲府中学より一部移管」された他、「県立図書館の現在ある微典館文庫は昭和六年初代館長伊藤宣将氏と当時の甲府中学校長江口俊博氏とが話合の上県立図書館に移管したものと記されています。残念ながら、今では往時の全貌を知ることはできませんが、昭和62年に刊行された『山梨県立図書館所蔵漢籍目録』には、微典館の歴史とその蔵書構成、並びに現況について記録した「微典館図書目録」が、付録として収録されています。

同目録は、微典館資料の『甲斐国志』『甲斐名勝志』とともに、「山梨デジタルアーカイブ」で公開しています。また、「国書データベース」(国文学研究資料館)、「全国漢籍データベース」(全国漢籍データベース協議会)からも微典館資料が検索できます。歴史ある甲府学問所の歩みを伝える貴重な資料として、大切に所蔵していきたいものです。

(資料担当 笠井)



『甲斐国志』。右上には微典館図書館の蔵書印。



当館地下の貴重書庫に所蔵しています。

図書館ボランティアの日常から

じっくり本を吟味する
来場者のみなさん。

絵本コーナーは
特に大人気。

Vol.9 第7回贈りたい本の市

やまなし読書活動促進事業の取り組みとして秋に開催している「贈りたい本の市」。昨年11月5日、甲府駅北口ペDESTリアンデッキにて3年ぶりに開催しました。今回は県内の図書館利用者から約1,500冊ご提供いただきました。当日は、県立図書館協力会のメンバーが店頭立ち、来場者と本を通して交流を深めました。売上は山日YBS厚生文化事業団、NHK歳末すけあい、フードバンク山梨に寄付しました。

(図書館協力員担当 三森)

Information

2023年度上半期のイベント

5月5日(金祝) **こどもの日のための腹話術とパペットショー**
手遊び歌に、パペットの人形劇、大型絵本を活用した読み聞かせなど、手振り身振りで楽しく参加できます。子どもたちに笑顔と癒しの場をお届けします。

6月24日(土) **かいぶらりシズンカレッジ 食育セミナー**
「野菜を楽しみ、もっと健康に!」をテーマに、キューピー株式会社のご協力をいただき、野菜の栄養や旬の情報、摂取の必要性、調理方法等をお伝えします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、延期または中止となる場合があります。

ジッポからのひとこと便り

県立図書館では、100万冊近い蔵書が誰かに手に取ってもらおうのを待っている。サイレントルームも座席を増やして... さあ、県立図書館へ! きっと心を満たす知識や情報と出会えるぞ!!

当館キャラクター 本探偵 ジッポ・ホンムズー世

この本が好き! 図書館スタッフおすすめの1冊

『髭男爵ひぐち君の語る日本ワインサロン』

髭男爵ひぐち君/監修 三栄 2022.11

造り手たちの情熱香る日本ワイン入門書

山梨県立図書館 資料担当 高橋敬子

ワイングラスで乾杯するネタで活動中のお笑いコンビ「髭男爵」ひぐち君が、造り手(醸造家)たちへのインタビューを通して日本ワインの魅力を紹介した一冊です。日本ワインとは日本産のブドウ100%で造られたワインで、同じ品種でもその土地の土のにおいや収穫年によっても味わいが変わる、まさに一期一会の“作品”のようだと感じました。

私のようなワイン初心者にはありがたいワイン用語解説や美しい写真ももりばめられ、何よりも造り手の皆さんの「おいしいワインをつくりたい」という熱い思いに心が動かされました。ワイン王国に住んでいるからこそ、出会えてよかった一冊となりました。

世界的に評価が高まりつつある日本ワイン。髭男爵ひぐち君が国内の醸造家との対話形式でその想いや魅力を伝える1冊。家飲みへのヒントも掲載。

新山梨県立図書館 開館10周年記念事業

オンラインで使えるサービスをご紹介! デジタルアーカイブ と電子書籍

感染症対策のため各地の図書館が臨時休館やサービス制限を行う中で、オンラインで利用できる非来館型サービスが注目されました。今回は当館ウェブサイトから利用可能なオンラインサービスを紹介します。

山梨デジタルアーカイブ

当館所有の貴重資料を紹介するデジタル資料館です。

近世以降の地図や明治から昭和にかけての統計書など、山梨県に関する調査・研究に役立つ資料を公開しています。

★利用するには…

インターネットを利用できる環境があれば、どこからでもご利用いただけます。高精細な画像をご覧になりたい場合には、パソコンからご利用ください。



スマホから見ると…



パソコンでは画像の拡大や回転、左右反転もできます

歴史的資料が自宅でも気軽に閲覧できます!

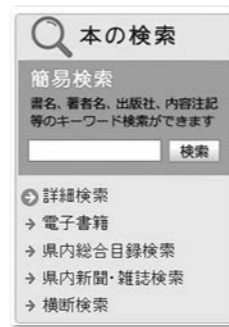
電子書籍

電子書籍サービスには、こんなメリットがあります。

- **いつでも、どこでも**
インターネットに接続できる環境があれば、すぐに利用できます。
- **返却忘れの心配、なし**
貸出から15日たつと、自動的に返却されます。
- **コンテンツ、いろいろ**
文字の大きさが変更できるもの、動画や音声で再生されるもの…、電子書籍ならではの「読書体験」はいかがでしょうか。

★電子書籍を使うには…

- ① 当館の図書館利用カードが必要です。
- ② 当館ウェブサイトから、インターネットサービスを利用するための手続きとして、パスワードとメールアドレスを登録します。
- ③ 当館ウェブサイトのリンク、バナーから「電子書籍」のページを開きます。
- ④ ログインして利用します。
利用者IDには図書館利用カードの番号を、パスワードには②で設定したパスワードを入力してください。



トップページ左側メニュー



トップページ右側バナー

(情報システム担当 馬淵)



辻村深月氏を招いて
阿刀田高名誉館長・金田一秀穂館長
とのトークショー

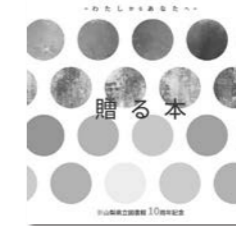
昨年11月13日、山梨県出身の作家・辻村深月氏をお招きしてトークショーを開催し、「本を贈る」ことをテーマにお話いただきました。本にまつわる思い出や、実際に本を贈ったエピソードなどのお話で盛り上がり、あっという間の2時間でした。会場129名、オンライン視聴147名、計276名の皆様に観覧いただきました。



10周年記念写真展

新図書館10年間の歩みを振り返る写真展を開催しました。建設時や引っ越しの写真などの他に、これまで当館に来てくださった著名な方々のサイン色紙も展示しました。

2022年11月11日、当館が甲府駅北口にリニューアルオープンしてから10周年の節目を迎えました。日頃から当館を利用してくださる皆様に感謝の気持ちを伝えたい、まだ利用したことのない方に当館を知っていただきたい。そうした思いをこめて各種イベントを開催しました。



10周年記念冊子
『贈る本-わたしからあなたへ-』

山梨県で生まれた方、山梨県に住んでいる方など、山梨県ゆかりの著名人がおすすめの本を紹介します。



10周年記念パネルに花を飾っていただく、参加型イベント。



図書館特製のしおりとブックカバーを配布。



職員用の10周年バッジ



10周年ポスター

事業のためのクラウドファンディングを実施し、たくさんのご支援をいただきました。ありがとうございました。

県図書TOPICS

TOPIC1

書庫の書架増設について

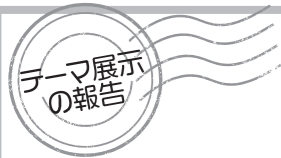
普段は皆さんの目に触れる機会の少ない地下書庫ですが、新館開館から10年目を迎えるにあたり、一部書架を増設しました。引き続き、より良い状態で保存できるように、順次、資料の移動作業も進めています。月2回の書庫の入室も再開しましたので、ご利用ください。
(資料担当 今村)



TOPIC2

ガーナからの留学生が自国を紹介!

「ガーナチャチャチャ!日本チャチャチャ!」
外国講師による国際交流事業「ことばのひろば」、12月のテーマはガーナでした。カカオ栽培、金・ダイヤモンド等の輸出産業、観光地、食、ファッション、音楽、自国語の紹介にガーナのダンス体験など、文化をぎゅっと詰め込んだ楽しいトークや実演に参加者全員が夢中でした。
(企画振興担当 赤池)



日本に鉄道がやってきた! ～鉄道開業150周年～

令和4年12月9日～令和5年2月12日

2022年は、新橋―横浜間鉄道開通から150年の年。各地でこれを記念したイベントが盛り上がりを見せました。また、2023年は中央線開通から120年、小海線開通から90年と、本県においてもメモリアルな年です。これに合わせ、鉄道の歴史や鉄道旅行、鉄道の発達に貢献した山梨県人に関する資料を展示しました。この中からひとつご紹介。大正時代の時刻表には、洗面所設置駅などの見慣れないマークや今はない駅の名前が載っており、じっくり眺めると楽しい発見があります。便利な鉄道に感謝しつつ、150年の歴史と鉄道の未来に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

(調査サービス担当 進藤)



『全国鉄道旅行絵図』
今尾恵介/解説
けやき出版

『ライフスタイルを形成した鉄道事業
(シリーズ情熱の日本経営史)』
老川 慶喜・渡邊 恵一/著
芙蓉書房出版

『日本鉄道事始め』
高橋 団吉・NHK
『ニッポンに蒸気機関車が
走った日』制作班/編著
NHK出版